

- 問1 九州地方南部に位置するある都市は、2011年の九州新幹線の全線開業によって、大阪などの大都市圏からの移動時間が大幅に短縮されました。この交通網の整備により、観光やビジネス面で大きな変化が生じた都市はどこですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 鹿児島市 2. 宮崎市 3. 熊本市 4. 福岡市
- 問2 日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。
2. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量には及ばない。
3. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。
4. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かれている。
- 問3 ある県の農業データとして、年平均降水量が2007.0mm、農業産出額が3512億円であり、そのうち果実の産出額が362億円、野菜の産出額が1248億円と、野菜の占める割合が非常に高くなっています。この県として該当するものを選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 熊本県 2. 高知県 3. 愛媛県 4. 長野県
- 問4 福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。
2. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。
3. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。
4. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。
- 問5 那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
2. 南西諸島に位置するため、1月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
3. 1月と7月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。
4. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。
- 問6 九州地方にある、温泉地として全国的に有名な観光都市の産業構造や社会状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。
2. 県庁所在地として行政機能や情報通信業が集中しているため、第3次産業の割合は高いが、都市開発により子育て世代の人口が増加している。
3. 広大な土地を活かした大規模な農業や畜産業が盛んであるため、第1次産業の就業者割合が他の都市に比べて高く、若者の流入が続いている。
4. 臨海部に鉄鋼業や自動車産業などの大規模な工場が集積しているため、第2次産業の就業者割合が最も高く、生産年齢人口の割合も非常に高い。
- 問7 九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 盆地 2. 三角州 3. シラス台地 4. カルデラ
- 問8 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
3. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
4. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
- 問9 2019年の空港別・訪日外国人の国・地域別割合を示した統計において、韓国からの利用者が約49.4%を占め、成田国際空港（約10.4%）や関西国際空港（約18.0%）と比較してその割合が極めて高い数値を示している国際空港はどこか、名称を答えなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 中部国際空港 2. 福岡空港 3. 那覇空港 4. 新千歳空港
- 問10 地方ごとの自然災害の発生状況を調べると、九州地方では土砂災害の発生件数が極めて多い傾向が見られる。この背景にある、九州地方南部に広がるシラスなどの火山性地震層の性質として適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 保水力が高く、固まりやすい 2. 水を通しにくく、粘土質である 3. 水がしみこみやすく、もろい 4. 地盤が強固で、浸食されにくい
- 問11 2022年の東京都中央卸売市場における菊の出荷状況において、3月の総出荷量は約3000万本で、そのうち沖縄県産は約1200万本と4割近くを占めています。一方、9月の総出荷量は同程度ですが、沖縄県産はわずか3万本にとどまっています。このように、沖縄県が冬から春にかけての出荷に特化している理由として、経済的な背景をふまえて説明したものを選びなさい。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 冬場は航空運賃が安くなるため、その時期に合わせて集中的に出荷を行うことで、生産費と輸送費の合計を最小限に抑えている。
2. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いいため、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。
3. 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。
4. 夏の台風被害を避けるために冬の栽培に特化しており、余った労働力を夏場はサトウキビ収穫に集中させることで生産費を下げている。
- 問12 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 三角州 2. カルデラ 3. シラス台地 4. 扇状地